

氏名 大 庭 治

学位の種類 医学博士

学位授与番号 甲 第 427 号

学位授与の日付 昭和51年9月30日

学位授与の要件 医学研究科外科系外科学専攻
(学位規則第5条第1項該当)

学位論文題目 右室流出路形成術に関する実験的研究

論文審査委員 教授 田中早苗 教授 中山 沃 教授 児玉俊夫

学位論文内容の要旨

右室から肺動脈にかけての狭窄あるいは断絶に対する手術方法として、右室流出路パッチや右室肺動脈バイパス法がある。本論文ではこれらの手術方法の心機能におよぼす影響と右室肺動脈間に移植した弁付き同種大動脈の経時的な変性について検討した。右室に大パッチを縫着した場合の圧発生は障害されないが拍出力は軽度に障害された。又パッチの拡大と後負荷により右心機能の低下は顕著となった。

右室肺動脈バイパスにより右心機能は容量負荷には軽度低下した。又用いた弁付き同種大動脈はその起始部で屈曲し狭小となる傾向があった。弁には石灰沈着はなく、弁機能はよく保持されたが、移植大動脈中膜には弾性線維の乱れる硝子様変性から軟骨形成までの変化が観察された。又外膜から中膜にかけて栄養血管の新生を認め、この周囲に細胞成分をみた。

論文審査の結果の要旨

本研究は、右室流出路形成術に関する実験的研究であって、従来極めて困難とされていた複雑心奇形に対する外科的療法にたいして同種移植片を用いることによってこの方面の研究に多大の貢献をしたものとして価値ある業績と認める。

よって本本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。